

暖房エアコン

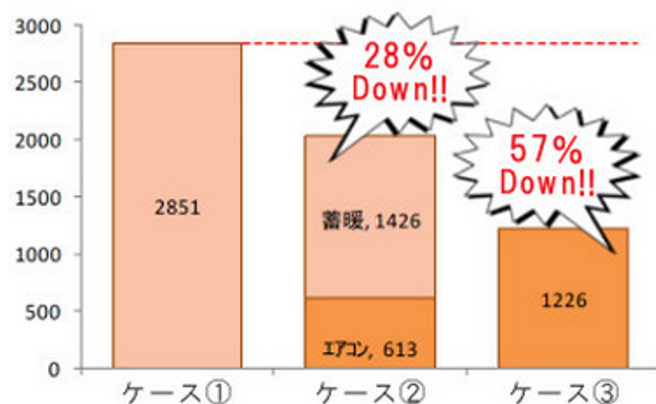
現在お使いの蓄熱暖房電気ボイラーはそのままでOK。リビングに寒冷地用暖房エアコンを新設できます。



- 外気温-15℃でも標準定格暖房能力を発揮(最大能力)
- 最高60℃温風
- 室外機凍結防止ヒーター標準装備

Point 1 省エネなら、断然エアコン！

使用量【ひとシーズンの電気使用量(LDK暖房)】 [kWh]



エアコンの割合が多いほど使用量は下がります！

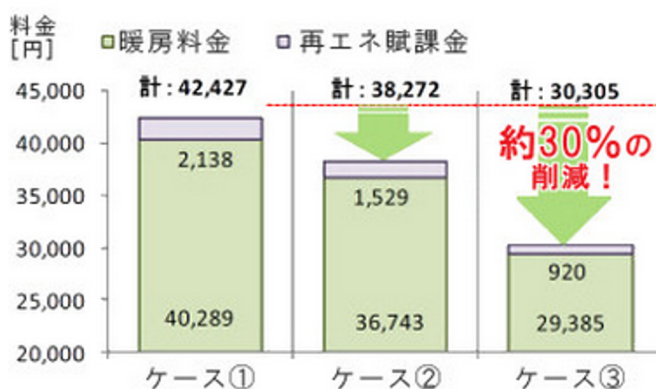
蓄熱暖房器のみ（ケース①）と比べて、エアコンのみ（ケース③）は57%も削減に！
空気の熱エネルギーを使うので、エアコンの使用割合が多いほど電気使用量は少なくなります。
つまり、エアコンを使うほど省エネにつながります！

【算定方法】

- ・蓄熱暖房器使用料は機器内の残存熱ロスは考慮していない。
- ・エアコンの機器効率(η)は過去の知見から想定した月別効率。

Point 2 料金もこんなにお得に！

料金【ひとシーズンの電気料金(LDK暖房)】 [円]



電気料金がぐっと下がってお得に！

蓄熱暖房器のみ（ケース①）と比べて、エアコンのみ（ケース③）は約30%の削減！
エアコンは割高なイメージがありますが、空気の熱エネルギーを使うので、昼間の電気料金を使用してもぐーんと抑えられます。

【算定方法】

ケース①：蓄熱料金は時間別電灯夜間単価(14.13円/kWh)。
ケース②：エアコン料金単価は、実測家庭2件のエアコン昼夜割合(夜間率)を参考に、実用的な夜間率を想定。これに機器効率を含めた平均単価を用い算出。蓄熱料金分はケース①同様。
ケース③：エアコン料金単価はケース②に同様の機器効率、夜間率は時間別暖房負荷の割合から得た平均単価を用い算出。